

## 普及活動情勢報告（平成 28 年 1 月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

### 増収効果に期待！ ～環境制御技術実証ほ～



データを示し、農家と意見交換中

高知農業改良普及所ではキュウリ、トマト、新ショウガで、炭酸ガス発生機を使用した環境制御技術の実証ほを設置し、増収効果を検討しています。キュウリでは毎週、開花や収穫果の位置、葉幅、着果数等の生育調査を行うとともに、土壌と植物体の硝酸態窒素濃度も測定しています。環境制御装置から得られた環境データと生育調査の推移を実証農家に示し、意見交換を行っています。今後も栽培管理に生かせる生育診断の指標を作成するため、5月末まで調査を継続します。

### 地域農業の担い手の確保や集落営農の推進 ～「人・農地プラン」見直し会～



集落営農の説明をする普及員

高知市では、地域の農業の担い手や農地をどうしていくか、各地区で作成している「人・農地プラン」の見直し会が、昨年12月から各地区で順次開催されています。

春野町西分地区では、プランの見直しの他に、耕作放棄地や鳥獣害対策、各種補助事業など各機関の支援策を紹介しました。普及所からは、地域農業を継続していく対策として集落営農について説明しました。参加者からは、獣害対策の様子や、農地の問題など、具体的な相談がありました。

普及所は、今後も担い手対策や集落営農の取組の推進など、地域農業の維持や発展に向けた取組の支援をしていきます。

### 「長く美しく観賞できる」ユリで販売力アップ！ ～水揚げ資材の検討～



有望な水揚げ資材を検討中

普及所では、昨年12月からJA高知春野と連携し、ユリの日持ち性向上に向けた水揚げ資材の試験を行いました。試験で使ったユリの「ソルボンヌ」は、春野から提供してもらい、どの水揚げ資材を使うと、最も長く美しく鑑賞できるか、を比較検討しました。生産者からは、結果に興味を示す意見があった一方、高い資材を使うメリットが十分に発揮されるのか、といった心配の声も聞かれました。3月には、「シベリア」でも同様の試験を実施する予定です。

花屋と産地の両方がメリットを感じられる有望な水揚げ資材を検討し、有利販売に繋がるよう、支援していきます。

### 伝統作物に関する活動計画を協議 ～ Team Makino 検討会 ～



農商工連携も積極的に！

伝統作物の復活に取り組む『Team Makino』は、1月9日に検討会を開催し、11人(農家6人)が出席しました。

伝統作物の6次産業化や県域ネットワーク組織の必要性など、幅広い課題を協議しました。普及所は会の進行とともに第3期高知県産業振興計画の高知市地域アクションプラン(案)について説明しました。参加者は、伝統作物の復活には生産の拡大と併せて販路の確保が重要であることを合意し、そのために漬物業者や旅館業との連携をすすめることになりました。

今後普及所は、生産拡大に向けた技術指導とともに関係機関等との連絡・調整をすすめます。

### 「よい食生活」で伝統野菜の復活を！ ～Team Makino がPR～



学習会の後は伝統野菜を展示販売

『よい食生活をすすめるネットワーク』が伝統野菜の復活に向けた学習会を開催し、約40人が参加しました。普及所と伝統作物の復活に取り組む『Team Makino』が講師を務めるとともに、伝統作物を販売してPRしました。

学習会では「潮江菜」や「在来ネギ」等について説明し、試食しながらの情報交換では『農家は販売だけでなく調理方法の提案も』や『行事食の伝承が途絶えている』などの意見がありました。また、用意した伝統野菜も完売し、『Team Makino』のメンバーも今回のような消費者との交流活動に手ごたえを感じていました。

今後普及所は、伝統作物のPR活動も支援します。

### 輝け！農業の担い手！ ～高知県農業担い手サミット in 高知市～



全体会で優良経営体表彰を受ける  
長浜ユリ農家の永井さん

平成28年1月21～22日、高知市「土佐御苑」において、「第17回高知県農業担い手サミット in 高知市」が開催されました。県内全域から83名の認定農業者および関係機関が参加し、事例発表や「(株)みずほ」長谷川氏による記念講演、高知市春野町「(有)見元園芸」等の現地視察により、資質向上および交流が図られました。普及所は現地ほ場の案内や補足説明により、開催を支援しました。

平成29年には、「全国農業担い手サミット in 高知県」の開催も決定されています。今後ますます農業の担い手が輝けるよう、普及所も全面的にバックアップして行きます。